人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（組織など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方 法	<p>●研究の名称 抗 FFAR2（遊離脂肪酸受容体 2）抗体の免疫組織染色における有用性について</p> <p>●研究の対象 2012年4月～2017年8月に当院で子宮頸部円錐切除術を受けられた方 50名 2012年4月～2017年8月に当院で子宮頸がんの治療（子宮摘出術、放射線治療）を受けられた方 50名</p> <p>●研究の目的 子宮頸がんは若年の女性における発症率1位であり、増加しています。治療については外科的切除、放射線治療が主な治療ですが、子宮頸癌・子宮頸部異形成に対する分子標的薬などはまだほとんど見つかっていません。この研究では、エネルギー代謝に関わる細胞膜受容体（FFAR2）が子宮頸部の腫瘍の変化に関与するのを評価し、治療の標的となる可能性を明らかにすることを目的とします。</p> <p>●研究の期間 2017年9月から2019年6月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
利用し、又は提供する試料・情報の項目	<p>●研究に使用する試料・情報： 情報：病歴、治療歴、カルテ番号 等 試料：病理組織（生検や手術により摘出した保存された組織）</p>
試料・情報の管理	●研究責任者

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

<p>について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 医学部産婦人科学講座 柴田俊章</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：産婦人科学講座 担当者：松家まどか TEL：053-435-2309 FAX：053-435-2308 E-mail：madogawa@hama-med.ac.jp</p>